女優志願（1958）

STAGE STRUCK

メディア 映画
ジャンル
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 95分
初公開日 1958/07/01
公開情報 ＲＫＯ

【解説】

女優を夢見てブロードウェイにやってきたエヴァ・ラヴレースは、何とか頼み込んで端役のオーディションを受けたが、失敗に終って行方をくらました。そして、エージェントで知りあって、偶然道で再会した劇作家のシェリダン（プラマー）に誘われるままパーティに参加。そこで即興で『ロミオとジュリエット』のバルコニーの場を演じ、新鮮な感覚が評価された。しかし、しこたま酔って、プロデューサー（フォンダ）とベッドを共にしてしまう。新作をスター女優のリタにさんざん難癖をつけられた挙げ句、降りられてしまったシェリダンは、代役に急拠エヴァを立てた所、これが好評で、彼女は新たな演技者としての人生に踏み出すのだった。有名なアクターズ・スタジオの主宰者であるリー・ストラスバーグの娘、スーザンが、３３年のキャサリーン・ヘプバーン主演作「勝利の朝」のヒロインに挑戦したＳ・ルメット監督作。スーザンも健闘したが、口では立派なことを言いながら中味は惨めったらしい中年男にすぎない劇界の大立者をフォンダが絶妙に演じ、印象に残る。ルメットの、製作当時のＮＹの雰囲気をよく掴んだ、ドキュメンタルな風景の拾い方は、さすがに感心させられるし、芝居の裏舞台も生々しい肌ざわりをもって伝わってくる。

【クレジット】

監督	シドニー・ルメット	Sidney Lumet
製作	スチュアート・ミラー	Stuart Millar
原作	ゾー・エイキンス	Zoe Akins
脚本	ルース・ゲイツ	Ruth Goetz
	オーガスタ・ゲイツ	Augustus Goetz
撮影	フランツ・プラナー	Franz Planer
	モーリス・ハーツバンド	Maurice Hartzband
音楽	アレックス・ノース	Alex North
出演	スーザン・ストラスバーグ	Susan Strasberg
	クリストファー・プラマー	Christopher Plummer
	ヘンリー・フォンダ	Henry Fonda
	ジョーン・グリーンウッド	Joan Greenwood
	ハーバート・マーシャル	Herbert Marshall
	ジョン・フィードラー	John Fiedler

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.